

# The Topics

東京都・埼玉県  
立教大学  
RIKKYO UNIVERSITY

## 新時代のリベラルアーツ教育を 戦略的に見すえた施設整備。

創立138年を迎えた立教大学は、中長期計画による施設整備を進めている。教育・研究活動を支える施設整備は、将来計画の重要な柱である。2011年には、池袋キャンパスのマキムホール(15号館)、新座キャンパスの8号館と4号館の一部、富士見総合グラウンドのクラブハウスや馬術部施設等が新設された。今号ではその中から、池袋キャンパスと並び、特色ある教育・研究拠点として発展し続ける新座キャンパスと、充実が図られた富士見総合グラウンドの施設整備を紹介する。

※リベラルアーツ(liberal arts)教育:知性・感性・身体バランスに配慮した全人的な教育。

### 新座キャンパス 8号館

現代がフィールドとなる学習環境を、  
より充実させる施設整備。

#### 21世紀のメインテーマを研究する 新座キャンパス

新座キャンパスは、観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部の3学部を有する。観光学部では「観光産業で活躍する人材の育成」をテーマに、観光に関する総合的・体系的な視点を身に付ける。コミュニティ福祉学部では「人間と社会の結びつき」をテーマに、いのちの尊厳と人間福祉について学ぶ。現代心理学部は「心」と「身体」と「映像」をテーマに、新しい人間学の創造を目指す。

現代社会で重視されるこれらのテーマに取り組む新座キャンパスでは、学部付属の研究所によるプロジェクトが文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に選定されるなどの実績を残している。こうした教育・研究活動の推進とそれに伴う学生数の増加に対応するために、中長期的な整備計画が進行中である。

#### 教室とメディアセンターの 機能を併せ持つ8号館

地下1階・地上5階建ての8号館には、講義室、演習室、PC教室、メディアセンター、講師控室、学生ラウンジなどがあり、授業・自習からイベント・講演会まで、さまざまな用途に活用されている。

また2010年には、専門教育に必要な英語力の強化を目指して、全学部の1年次生を対象に、英語ディスカッション\*を核とした少人数授業が行われるようになった。8号館の演習室は、このような少人数授業などの新たな試みに対応している。

2階のメディアセンターは全学的な組織で、学内ネットワーク環境の構築・管理、コンピュータやマルチメディア機器に関する利用環境の整備などさまざまな業務を担う。

\*英語ディスカッション:基礎英語力はあるが自由に英語が話せない日本の現状で、どんな話題についても話せる会話力や表現力を伸ばすための会話を中心としたクラス。

◀ N852教室 / 講義デスク・イス: SCF-5105特注品(円弧配列)  
110席(可動席1席)、教卓: S-30、教卓用チェア



◀ N851教室 / 平場可動席 テーブル:  
CTZ、イス: PEN 66席、段床固定席 講  
義デスク・イス: SCF-1507 85席  
▶ 教室 / テーブル: CTZ



▶ 多目的教室 / メモ台付チェア: ピアネロ  
座を跳ね上げてスタッキング可能





N8B1教室 / 講義デスク・イス:SCF-1507 449席(可動席6席)

**ICT環境を整備し、独自の教育・研究を支える施設群**

地下1階にある「N8B1教室」は、充実したデジタルAV機器を備えた大講義室である。他教室への映像配信、学会などのイベントや講演会に活用されている。5階の「N852教室」は、学生と教員の一体感が感じられる円形教室で、講義のほか講演会などにも利用される。

4階の「演習室」には、ノートPCや大型プラズマディスプレイなどが設置されている。さまざまな利用を想定して、テーブルはノートPCを格納できる二重天板になっており、安全性を考慮して手ばさみ防止機構を備えている。ここでは、英語ディスカッションやグループワークが行われ、正課授業のみならず、自習利用も想定されている。

5階の「多目的教室」は、ワークショップやゼミなど多用途に対応するため、大型タブレットを備えたキャスター付きのスタッキングチェアを用意している。レイアウト変更が簡単で機動性が高く、自由な教育・研究活動ができる。

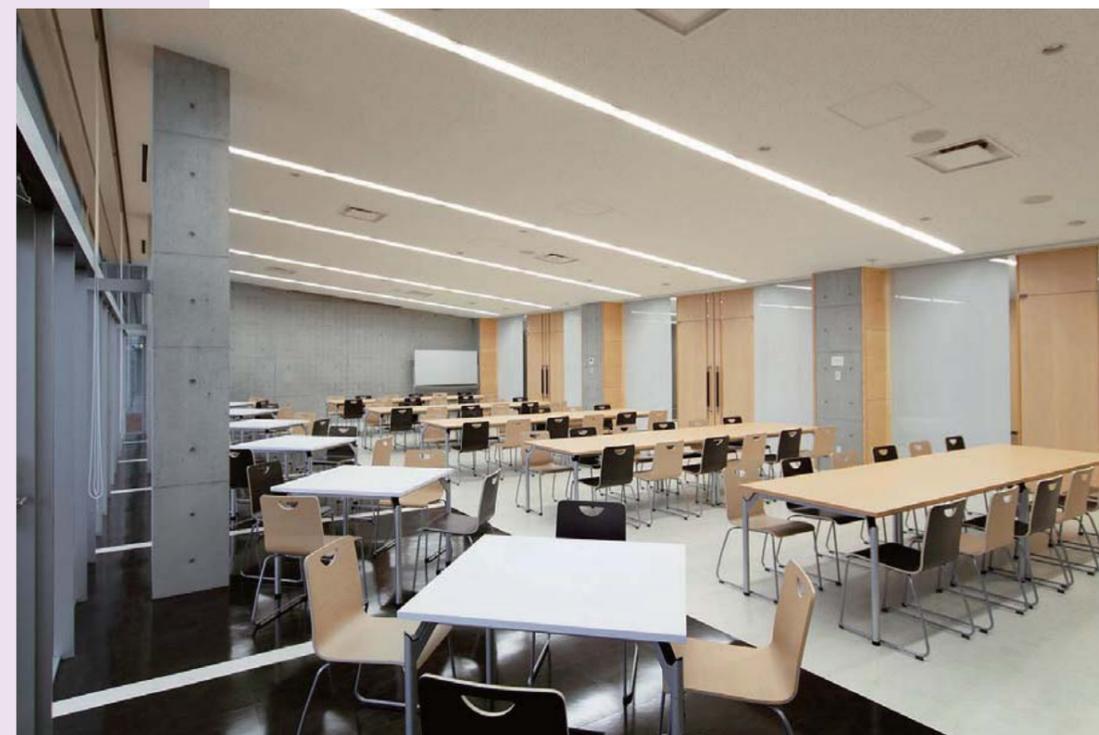
これらの教室群と設備が、立教大学のリベラルアーツ教育や新座キャンパス独自の研究活動を、多面的にサポートしていくことが期待される。



演習室 / PC対応講義デスク(天板開閉式) :SCM-PC-DB  
メンテナンス性にも配慮して、フロントパネルの開閉が可能



応接室 / ソファ:NZS051、ローテーブル  
食堂 / テーブル:DTN  
応接室 / ロビーチェア:LSPA、ローテーブル



**富士見総合グラウンド・クラブハウス**

**競技へのモチベーションと、学生間交流を促進する施設整備。**

立教大学は現在、体育会活動とクラブ・サークル活動を支援する仕組み作りとともに、施設整備を進めている。整備計画は3期にわたって進められており、2011年には、クラブハウスの新設と馬術部施設およびグラウンド外構の整備が行われた。

学生の競技へのモチベーション向上と、クラブ同士やOB・OGそして他大学との交流活性化を目指して、クラブハウスには、会議室、部室、トレーニングスペース、食堂などを設置している。会議室は大・中・小と揃え、多用途に対応できる。また、天井から床まで開口した明るい食堂は、ゆったりとしたレイアウトで、食事・休憩の他にミーティングなどにも利用可能である。

施設整備によってスポーツを通じたコミュニケーションが活性化し、富士見総合グラウンドから多くのアスリートが輩出され、立教大学に新たな魅力がそなわっていくことだろう。



会議室 / テーブル:CTZ、イス:ルッシュ  
下足室 / ベンチ:PB-B1  
小会議室 / テーブル:DTN

